

穂 学

平成30年度

広州日本人学校学校便り

[No. 2]

平成30年 5月10日(木)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

「あいさつ」で心豊かな学校づくりを

校長 丸本 亙

入学式・始業式から早1ヶ月が経過し、広州では蒸し暑い日々が多くなってきました。木々は目に眩しいほどに緑を深めています。日一日と成長していく子ども達と何か重なるものを感じます。

さて、本年度学校では、「道徳」の教科化に合わせて、「相手を認め、思いやりの心を持ち、主体的に考え行動することができる児童生徒」を目指して教師全員が「道徳」の研究授業を行うこととしました。授業を通して、本校の子どもたちの課題を洗い出し、改善していきたいと考えています。

道徳に関わることで、普段の生活の中ですぐに実践できることは「あいさつ」だと思っています。私は着任以来一貫して「心からあいさつできる子」を育てたいという思いで取り組んできました。しかし、子どもたちの転出転入も多く、なかなか徹底できていないのが現状です。本校のみならず、特に最近の子ども達は、「あいさつ」が苦手のように感じます。大人の世界でもきちんと「あいさつ」のできない人が増えてきています。ご家庭ではどうでしょうか。お子さんが朝起きてきたときに大きな声で「おはよう」と声をかけているでしょうか。子ども達が「あいさつ」できなくなっているのには大人の方にも問題があるように思います。家庭に限らず学校やまち（広州では難しいですが日本国内では）の中でも大きな声で「あいさつ」できるようになってほしいと願っています。

「あいさつ」は、朝の「おはよう」だけではありません。ある学校では「あさがお」運動という活動をしているそうです。「ありがとう」「さようなら」「がんばろう」「おはよう」の4つの言葉に特に重点をかけて指導に取り組んでいるのだそうです。その結果、学校全体が活気に溢れ、大変明るくなったと聞きました。

「あいさつ」の言葉にはまだまだたくさんありますが、自然と「あいさつ」の言葉が出てくるような習慣づけができれば素晴らしいことだと思います。

「あいさつ」は、「しても」「されても」気持ちの良いものです。そこには、心の交流が生まれます。相手を思いやる優しさも感じ取ることができます。どんな時にもどんな場所でも素直な気持ちで「あいさつ」ができる子ども達に育つよう、学校では取り組んでいきたいと考えています。

「あいさつ」を通して、心豊かな学校づくりに努めていきたいと思いますので、家庭でのご協力をお願いいたします。

小1・中1を迎える会

4月18日「中一を迎える会」、4月21日「小一を迎える会」が行われました。

中学部では最初に、中2・中3全員によるアルト、ソプラノ、男声パートに分かれての三部合唱を披露。コブクロの「蕾（つぼみ）」を心をこめて歌いました。その後2年生より、一年生の不安が少しでもやわらぐよう、中学部の学習や深圳宿泊学習について、パワーポイントを使っての説明がありました。中3は、中学部で毎年踊っている運動会でのカンファーを披露し、会を盛り上げてくれました。後半の部の部活動紹介では、一年生への勧誘パフォーマンスを必死で行っていたのが印象的でした。最後に中1が先輩への感謝の気持ちを伝えるサプライズ企画として、『TOMORROW』を合唱しました。



小学部は、4年生が体育館の飾り付けを担当。3年生が花道を作り、6年生に手を引かれながら、緊張した面持ちで入場した1年生。まず、2年生から6年生までの全児童が、1年生へ「茉莉花」の歌のプレゼント。中国語の歌詞と美しいメロディーが体育館中に響きわたりました。2年生からは、1年間の学校行事を紹介する呼びかけと1年生一人ひとりの顔写真入り手作りのメダルを進呈。1年生は、「ドキドキどん」の歌を元気いっぱいになり、最後は全校児童で、猛獣狩りゲームをして盛り上がりました。

みんなの笑顔が印象に残る、素敵な歓迎会でした。



【運動会について】

先月4月28日の授業参観、学級・学年懇談会には、多数の保護者の方にご来校いただき、ありがとうございました。今月末には、JSG運動会があります。

雨季に入り、練習がグラウンドで行えない日も多く、子どもたちも本番のお天気を心配しているようです。また、暑さも本格的になり、子どもたちの疲労もたまってくると思われます。週末は、ゆっくり身体を休めていただきますよう、よろしくお祈りします。学校でも、子ども達が怪我なく、安全に練習を行えるよう、指導してまいります。

【住所変更について】

住所変更については、担任に連絡後、ホームページを確認の上、バス入退会手続き専用メールアドレスへ、住所変更届けの送付をお願いします。ストップによっては残席数により、乗車できない可能性もありますので、ご承知おきください。